

内田鋼一

## Profile

陶芸家、造形作家。

愛知県名古屋市生まれ。愛知県立瀬戸窯業高等学校陶芸専攻科修了後、世界各国の窯業地を巡り、現地で働きながらその土地の土、窯でやきものを制作、研究を重ね、後に三重県四日市市にて独立。国内外の美術館やギャラリーにて個展開催の他、陶芸のみならず金属作品や店舗デザインなど多岐にわたるアートワークを発表し続け、各方面で高い評価を得ている。著書に作品集「UCHIDA KOUICHI」求龍堂、「MADE IN JAPAN」アノニマスタジオなどがある。2015年11月末に三重県四日市市に『BANKO archive design museum』を設立し常設、企画展を通し美術、工芸、デザインなど独自の目線、切り口で各方面に発信し続けている。

- 1969 愛知県名古屋市に生まれる
- 1990 愛知県瀬戸窯業高校陶芸専攻修了
- 1992 三重県四日市市に移り独立 1993年より個展を中心に活動
- 1999 「東海の陶芸」展（名古屋国際会議場・愛知）
- 2000 「うつつをみる 暮らしに息づく工芸」展（東京国立近代美術館工芸館）
- 2003 「UCHIDA KOUICHI」展（Paramita Museum・三重）  
作品集『UCHIDA KOUICHI』を求龍堂より刊行
- 2004 「静謐なかたち 内田鋼一 Uchida Kouichi works2003-2004」展  
（4th MUSEUMRIVER RETREAT 雅楽俱・富山）
- 2006 「陶芸の現在、そして未来へ Ceramic NOW+」展（兵庫陶芸美術館）  
“SOFA”（ニューヨーク） JAPANESE CRAFTS（ギャラリーベッソン・イギリス・ロンドン）
- 2008 「新進陶芸家による『東海現代陶芸の今』」展（愛知県陶磁資料館） ” melbourne Art Fair”  
（オーストラリア・メルボルン）” Rosso:Uchida Kouichi”（Daniela Gregis・イタリア・ベルガモ）  
「aim(art in mino) '08・土から生える」展（多治見市、土岐市、瑞浪市、岐阜）
- 2009 「第43回『明治村茶会』日本庭園、野点席席主担当」（愛知県犬山市明治村）
- 2010 「第3回智美術館大賞展現代の茶-造形の自由」展（菊池寛実記念 智美術館・東京）  
「茶事をめぐって-現代工芸の視点」展（東京国立近代美術館工芸館）
- 2011 「“MADEIN JAPAN” 内田鋼一 collection」展（museum as it is・千葉）  
「内田鋼一 茶の空間」展（樂翠亭美術館・富山）  
「井上有一・内田鋼一」展（箱根菜の花展示室・神奈川）
- 2012 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2012」（新潟）  
「交差する視点とかたち」札幌芸術の森美術館、北海道立釧路芸術館  
“SOFA”（シカゴ）
- 2013 「UCHIDA KOUICHI」展（Paramita Museum・三重）
- 2015 「内田鋼一 手と眼」展（樂翠亭美術館・富山）  
「BANKO archive design museum」を開館（三重）
- 2016 「工藝を我らに」（資生堂アートハウス・静岡）

スペイン・フランス・イギリス・イタリア・オーストラリア・西アフリカ・ベトナム・タイ・韓国・中国・台湾・インド・アメリカ・南米等で製作及び発表